

部の目標（ビジョン・組織運営方針）

ビジョン（目指す姿）

「つながる はじまる なかの」を実現するための区政運営を目指します。
基本構想に掲げる10年後のまちの姿の実現に向けて、効果的な政策が立案されるよう、PDCAサイクルによって施設・財政・情報などの経営資源が最大限に活用される持続可能な区政運営を目指す。

令和3年度の組織運営方針

政策・施設・財政・情報などのマネジメントを適切に行い、新しい基本計画における重点プロジェクトや区政構造改革などの組織横断的な課題へ対応するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う臨時的な対策などを着実かつ効果的に実施する。

部の経営戦略

課の名称	ミッション（使命・役割）	重点取組み事項
企画課	対話・参加・協働で、みんなとつながる区政を推進 ・区政の全体最適化に向けて政策のマネジメントを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定める教育大綱の改定に向けた検討を進める。 ○ 基本計画を策定し、重点プロジェクトを進める。 ○ 区有施設整備計画を策定し、計画上の施設再編及び更新・保全を進める。 ○ 構造改革実行プログラムを策定し、個別プログラムの実行によって施策・施設・組織の再編を推進する。 ○ 行政評価により事業効果を実績・コスト等で測定し、着実に翌年度予算に反映する。 ○ 中野区男女共同参画・多文化共生推進審議会における調査審議及び答申を受け、新たな条例の制定に向けた検討を進める。
財政課	未来へつながる財政運営 ・持続可能な財政運営に向けて、着実な財源確保とエビデンスに基づく最適な財源投入を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 構造改革実行プログラムや事業の見直し・改善によるビルド・アンド・スクラップとエビデンスを明確にした予算編成を行う。 ○ 中期的な財政見通しと大規模施設整備やまちづくりの計画を踏まえ、適切な基金と起債の計画を立てる。 ○ 今後厳しさが増すことが想定される区財政を意識し、適切かつ効果的な予算執行を行う。 ○ 新公会計制度に基づく財務情報を区政経営に有効に活用する。 ○ 債権管理対策会議等を通して課題を整理し、各債権の収入率の向上と未収金対策に取り組むとともに、全庁的に一貫した債権管理の方策などについて検討を進める。
広聴・広報課	真のPR（良い関係づくり）を！ 広く聴き、一人ひとりに届ける ・「赴く、聴く、考える、つなぐ、発信する、見直す。また、赴く」を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区民の声対応における当課による各職場への支援力を高める。 ○ 区長のトップマネジメントを広聴に基づき補佐する。 ○ 区職員の広報マインド醸成に向けた取組を強化する。（情報発信ガイドラインの周知徹底、広報クリニックの実施促進など当課による各職場への支援力を向上） ○ 区政の重要政策について、当課が中心となって戦略的な広報を行う。 ○ 動画やSNSによる情報発信を質量ともに高めるとともに、クロスメディアによる広報を一層進める。 ○ 広報全般において、ユニバーサルデザインに配慮するとともに、多言語対応（やさしい日本語を含む）を進める。 ○ 観光施策を見直し、シティプロモーションと一体となった効果的な取組に再構築する。
情報システム課	ICTの利活用で、生活を守り、豊かに ・情報システムを活用して区民生活及び行政サービスの向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域情報化推進計画を策定し、電子申請手続きの拡充や統合型GISの構築に向けた検討、準備を着実に進行。 ○ 国が推進するシステムの標準化への移行を見据えて新区役所の窓口業務におけるシステム活用の調査及び検討、準備を行う。 ○ 住民情報連携基盤システムのリプレイスについて、進捗管理と事業者・各部調整を着実に実施することでスケジュール通り完了する。 ○ 職員の働き方のあり方も見据えながら、新区役所への移転を契機として区の情報インフラの見直しについて検討、準備を行う。 ○ 情報システムの安定稼働のため、運用環境の改善、職員の育成を行う。